



【学習目標】

わが国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学社会6年」	(日本文教出版)
副教材	社会科資料集	(新学社)

持ち物		
教科書	ノート	社会科資料集
筆箱	下敷き	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことや大事だと思うところに印をしたり、調べたりする等して、予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- 提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備してから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】

ほか きょうか ぎょうじどう かんれん がくしゅう じゅんじょ い か ばあい
※他の教科や行事等との関連から、学習の順序を入れ替える場合があります。

ぜん き 前 期	こう き 後 期
<p>1 わが国の政治のはたらき</p> <p>1 日本国憲法と政治のしくみ</p> <p>2 わたしたちの願いと政治のはたらき</p> <p>[1] 自然災害からの復旧や復興の取り組み(1-2選択)</p> <p>[2] 経験をむだにしないまちづくり</p> <p>2 日本のあゆみ</p> <p>1 大昔のくらしとくにの統一</p> <p>2 天皇を中心とした政治</p> <p>3 貴族が生み出した新しい文化</p> <p>4 武士による政治のはじまり</p> <p>5 今に伝わる室町の文化と人々のくらし</p>	<p>2 日本のあゆみ</p> <p>6 戦国の世の統一</p> <p>7 武士による政治の安定</p> <p>8 江戸の社会と文化・学問</p> <p>9 明治の新しい国づくり</p> <p>10 国力の充実をめざす日本と国際社会</p> <p>11 アジア・太平洋に広がる戦争</p> <p>12 新しい日本へのあゆみ</p> <p>3 世界のなかの日本とわたしたち</p> <p>1 日本とつながりの深い国々のくらし</p> <p>2 世界がかかえる問題と日本の役割</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
技能・知識	わが国の政治と歴史及び国際理解について理解し、各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている。	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす たんげん 発言・発表 授業の様子 単元テスト ノート
思考・表現・判断	社会的事象の特色や相互の関連、意味、自らの社会への関わり方を考え、説明したり、それらを基に議論したりしている。	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす たんげん かい 発言・発表 授業の様子 単元テスト ノート ふり返り
主体的に取り組む態度	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようと、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。	はつげん はっぴょう じゅぎょう ようす かい じしゅがくしゅう 発言・発表 授業の様子 ノート ふり返り 自主学习